

看護学科の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【学士（看護学）】

学部の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）	学科の人材育成に関する目的（甲南女子大学学則 第2条）
豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療及び保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会及び国際社会において活躍できる人材を育成する。	豊かな人間性と高い倫理観を培い、生命の尊厳を基盤に、対象者とその家族・コミュニティを中心にした看護が実践でき、地域・国際社会で活躍できる人材を育成する。

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー	
DP1 知識・理解	(1)	<p>「豊かな人間性を培い、高い倫理観のもと生命への尊厳を基盤に対象者とその家族を中心にした看護を実践するための基礎的能力を修得する」という看護学科の教育目標を達成するために、次の7つの教育の柱をおく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間を尊重する態度と創造的ケアの実現 2) ライフサイクルを踏まえた人間理解 3) 科学的根拠に基づいた看護実践 4) 人間関係を培うコミュニケーション 5) 国際・情報化社会に対応できるグローバルな観点 6) 多職種連携における専門職の理解 7) 倫理的態度を基にした自律的学習 	<p>看護学科では、以下のような学生を求めます。</p> <p>1. 関心・意欲・態度</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人とかかわることに関心を持ち、命の尊さや人々の健康、生活について理解しようとする人 ②知的好奇心が旺盛で、幅広い分野で自分の能力を高めたという意欲をもつ人 ③相手の立場を思いやって考え、行動しようとする人 ④人と文化の多様性を尊重し、広い視野を持ちながら国際社会に貢献しようとする人 <p>2. 知識・教養</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看護学を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を身につけた人 ※高等学校までに学ぶべき教科（英語、国語、数学、理科、社会）を習得していること <p>3. 思考力・判断力・表現力</p> <ol style="list-style-type: none"> ①柔軟な発想で物事を思考し、探求していこうとする人 ②知識・教養を基盤とした深い思慮と倫理観をもって物事を判断しようとする人 ③コミュニケーション能力を向上させることができ、自分の意思を表現できる人 <p>4. 協働性・主体性</p> <ol style="list-style-type: none"> ①様々な人々と協力して主体的に行動することができる人 ②主体的に学び続けることができる人 	
	(2)			科学的根拠に基づいた看護を実践するための、専門知識が理解できる。
DP2 汎用的技能	(1)			社会文化的背景の理解のもとにコミュニケーション能力を活かして、対象者と共に建設的で対等な関係性を築くことができる。
	(3)			多職種との連携においてチームの一員としての役割を理解し、メンバーシップ、リーダーシップが発揮できる。
DP3 態度・志向性	(1)	国際・情報化社会に柔軟に対応できる基礎的な能力を身につけ、グローバルな観点から看護を志向することができる。		
DP4 統合と創造的な学習経験	(1)	人間を尊重する態度のもと、個人および集団に対する健康と生活の質の向上のために、その人々にあった創造的なケアの実現を目指すことができる。		
	(2)	看護専門職としての責任と倫理的態度を身につけ、生涯学習者として自律・自立した学習を推進するための能力向上に努めることができる。		